

# 学校英文法コーパスの提案 ～デザインと応用可能性～

小林 雄一郎(法政大学)

田中 省作(立命館大学)

後藤 一章(大阪大学)

徳見 道夫(九州大学)

朝尾 幸次郎(立命館大学)

# 1. 研究の背景

- 大規模コーパスにおける情報付与
  - 品詞情報
  - 構文情報
  - 意味情報
  - etc.
- 学校英文法情報
  - 日本人にとって、重要な理解の観点
  - 教育分野での高いニーズ
  - 学校英文法情報が付与された(研究利用可能な)コーパスは皆無

## 2. 構築方針

- 使用データ(プロトタイプ版)
  - Penn TreebankのBrown Corpus部分から約4000文
  - 中高の教科書コーパス
- 文法情報
  - 佐野・猪野 (2000) における文法項目の精錬
  - 個々の文法定義は、綿貫 (2000) を参照
- 情報付与
  - automatic taggingとmanual taggingの併用

### 3. 応用可能性

- 学校英文法に基づく英文処理
  - 英文に含まれる文法項目を自動検出



- 言語教育への応用
  - 辞書・文法書の編纂
  - 教材の開発・評価
  - 学習者言語の評価